

東三河地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組	実 績											目標値	目標年度	指標の説明
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度			
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体	汚水処理人口普及率(%)										汚水処理人口普及率(%)			
	・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	82.8%	83.5%	84.1%	85.6%	86.5%	86.5%	88.1%	88.6%	89.3%	90.4%	90.7%	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100
	下水道の整備	下水道普及率(%)										下水道普及率(%)			
	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	65.2%	65.8%	66.2%	67.2%	67.7%	68.2%	68.6%	69.3%	70.0%	70.9%	71.2%	86.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100
	高度処理施設の導入(下水道整備の内)	高度処理人口普及率(%)										高度処理人口普及率(%)			
	・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	36.2%	36.7%	36.8%	44.9%	45.3%	45.7%	46.8%	47.5%	47.2%	48.9%	49.2%	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100
	農業集落排水施設の整備	農業集落排水処理人口普及率(%)										農業集落排水処理人口普及率(%)			
	・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全・維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	5.7%	5.6%	5.6%	5.6%	6.0%	6.0%	6.2%	6.1%	6.0%	5.8%	5.6%	7.5%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)										合併処理浄化槽処理人口普及率(%)			
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	11.7%	11.8%	12.1%	12.7%	12.6%	12.0%	13.1%	13.0%	13.2%	13.6%	13.8%	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100
	合併処理浄化槽の設置	合併処理浄化槽の基数割合(%)										合併処理浄化槽の基数割合(%)			
	・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	31.0%	33.6%	35.0%	36.0%	37.3%	38.3%	39.3%	40.7%	41.7%	42.4%	43.2%	100%	2030	
	コミュニティプラントの整備	コミュニティプラント処理人口普及率(%)										コミュニティプラント処理人口普及率(%)			
	・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.24%	0.24%	0.15%	0.15%	0.12%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100
	干潟・浅場造成事業	干潟・浅場造成面積(ha)										干潟・浅場造成面積(ha)			
	・水質・底質の悪化により低下した漁場生産力の回復や水質浄化機能の向上を図る。	1ha	—	—	—	1.5ha	1.0ha	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.7ha	1.7ha	471ha	2014～2038	干潟・浅場を造成した面積
	河川等公共用水域水質監視	河川(BOD)の環境基準達成率(%)										河川(BOD)の環境基準達成率(%)			
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	毎年	・河川BODは東三河地域のみの環境基準達成率 ・海域CODは渥美湾のみの環境基準達成率
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	海域(COD)の環境基準達成率(%)										海域(COD)の環境基準達成率(%)			
	・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	100%	毎年	
	水生生物調査	実施箇所数										実施箇所数			
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	27箇所	20箇所	41箇所	33箇所	31箇所	28箇所	37箇所	28箇所	36箇所	29箇所	30箇所	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	598人	491人	775人	616人	598人	668人	591人	533人	633人	411人	723人	前年増	単年	
	流域モニタリング一斉調査	実施箇所数										実施箇所数			
	・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	8箇所	12箇所	14箇所	14箇所	11箇所	10箇所	19箇所	20箇所	25箇所	18箇所	16箇所	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
	・住民と行政が連携・協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	73人	67人	128人	190人	104人	119人	104人	124人	131人	88人	242人	前年増	単年	
	伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化)	施策実施状況(件)										施策実施状況(個)			
	・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	188件	192件	200件	201件	205件	215件	217件	218件	219件	219件	—	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況
	三河湾環境再生プロジェクト	サポーター数(人)										サポーター数(個)			
	県民、NPO、企業、関係団体、教育機関、行政等が一体となって、三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高めるため、「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」と連携・協働し、三河湾の環境再生について関心を深める事業を実施するとともに、NPO等の活動支援を行う。							375人	649人	1,025人	1,284人	1,924人	継続実施	継続実施	サポーター数
	河川・海岸の清掃	実施回数(回)										実施回数(回)			
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	70回	67回	68回	183回	172回	178回	167回	142回	187回	37回	37回	前年増	単年	
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施箇所数										実施箇所数			
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	120箇所	102箇所	103箇所	113箇所	138箇所	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	147箇所	147箇所	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
	・きれいな川と海を次世代に残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	27,962人	20,960人	20,961人	30,053人	29,294人	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	7,183人	7,183人	前年増	単年	

めざす姿	指標とする取組	実 績										目標値	目標 年度	指標の説明		
	取組内容	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度				2019年度	
豊かな水	森林の整備	間伐面積(ha)										間伐面積(ha)	4,000ha (県域)	2016 ～2020	間伐を実施した面積	
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	2,729ha	3,246ha	3,246ha	2,521ha	2,608ha	2,362ha	2,397ha	2,497ha	1,845ha	1,881ha	1,508ha				
	水源地域の森林整備	間伐面積(ha)										間伐面積(ha)	継続 実施	単年	間伐を実施した面積	
	・(公財)豊川水源基金の水源地林対策事業に対し負担金を支出し、県と流域市町村が一体となって水源地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。	402.6ha	394.7ha	493.3ha	399.6ha	410.6ha	342.6ha	339.8ha	368.2ha	363.0ha	344.4ha	371.5ha				
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数										雨水貯留施設の設置数	継続 実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数	
	・降雨時における雨水流出抑制を図ることにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	20基	9基	10基	51基	41基	35基	31基	22基	10基	9基	9基				
		雨水貯留浸透施設設置補助件数										雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続 実施	単年		
		100件	61件	62件	113件	116件	98件	54件	30件	53件	42件	42件				
	ため池の保全	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。								整備箇所数		整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
										23箇所	104箇所	98箇所				98箇所
透水性舗装の推進	整備面積(m ²)										整備面積(m ²)	継続 実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積		
・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	11,619㎡	4,508㎡	1,415㎡	5,589㎡	4,943㎡	1,450㎡	965㎡	1,978㎡	10,850㎡	920㎡	920㎡					
多様な生態系	多自然川づくり	整備延長(km)										整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績	
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	－	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km				
	干潟・浅場の保全・再生(再掲「きれいな水」)	干潟・浅場造成面積(ha)										干潟・浅場造成面積(ha)	471ha	2014 ～2038	干潟・浅場を造成した面積	
	・多様な生態系の維持や水質浄化、景観の維持などの多面的な機能を持つ干潟・浅場の保全・再生を推進する。	1ha	－	－	－	1.5ha	1.0ha	1.1ha	0.1ha	1.0ha	1.7ha	1.7ha				
	水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数	
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	27箇所	20箇所	41箇所	33箇所	31箇所	28箇所	37箇所	28箇所	34箇所	29箇所	30箇所				
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)延べ参加人数(人)延べ参加人数(人)	延べ参加人数(人)	前年増	単年	
		598人	491人	775人	616人	598人	668人	591人	533人	221人	411人	723人				
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	70回	67回	68回	183回	172回	178回	167回	142回	187回	37回	37回				
		実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年		
		120箇所	102箇所	103箇所	113箇所	138箇所	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	147箇所	147箇所				
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
		27,962人	20,960人	20,961人	30,053人	29,294人	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	7,183人	7,183人				
ため池の保全(再掲「豊かな水」)	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。								整備箇所数		整備箇所数	継続 実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数		
									23箇所	104箇所	98箇所				98箇所	
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)										整備延長(km)	継続 実施	単年	県内全域での実績	
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	－	3km	1km	1km	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km				
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	70回	67回	68回	183回	172回	178回	167回	142回	187回	37回	37回				
		実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年		
		120箇所	102箇所	103箇所	113箇所	138箇所	170箇所	134箇所	206箇所	246箇所	147箇所	147箇所				
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	27,962人	20,960人	20,961人	30,053人	29,294人	27,169人	23,237人	28,954人	28,134人	7,183人	7,183人					

東三河地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績												
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
豊川・天竜川等流域	森づくり	水源地域の森林整備 ・（公財）豊川水源基金の水源地対策事業に対し負担金を支出し、県と隣城市町村が一体となって水源地地域の森林整備及び作業路新設への助成を行う。	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東三河町、豊橋村、清水武原町、 〔宗報告機関〕清水武原課	開伐面積 (ha)										開伐面積 (ha)		
				402.6ha	394.7ha	493.3ha	399.6ha	410.6ha	342.6ha	339.8ha	368.2ha	363.0ha	344.4ha	371.5ha		
		豊川流域の森林整備 ・ 間伐や下草刈りなどの森林整備を行う。	NPO種の国森づくりの会	整備面積 (ha)										整備面積 (ha)		
				5ha	5ha	5ha	5ha	5ha	5ha	5ha	6ha	10ha	7ha	—		
		里山づくり ・ 新倉川に環境の指標生物であり人々の憩意をさそうホタルがかつてのようー自生する状態を実現することを目指し、里山のメンテナンス(下草刈り、ザリガニ駆除)を行う。	新倉川青水フォーラム	整備面積 (ha)										整備面積 (ha)		
				—	3ha	—	—	—	—	2ha	2ha	2ha	—	—		
				実施回数 (回)										実施回数 (回)		
				12回	12回	12回	12回	19回	15回	14回	14回	12回	—	—		
				延べ参加人数 (人)										延べ参加人数 (人)		
				100人	150人	150人	350人	570人	500人	300人	200人	200人	—	—		
				整備面積 (ha)										整備面積 (ha)		
				32.9ha	16.1ha	32.9ha	16.7ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	—	32.9ha		
		【目標】 ☆森づくりによる美しい自然と健康で豊かな生活環境との調和 ＜上流域＞ ・自然環境と良好な豊穡・清流の保全 中・下流＞ ・動植物の生息・生育環境の保全と環境学習、人とのふれあいやらぎの空間としての利用	【詳細】 ○豊川放水路では赤潮の発生による水質の悪化が見られる。 ○平遠川下流域においては昨年度に水漏れ懸念となり、河川環境への影響が見られることがある。 ○水源地である森林は、森林の入れ替えを助けるための取組が重要となっている。	分収育林事業 ・ 水源林の保全・かん養に「分収育林」という形でお手伝いする。 ・ 上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。	蒲郡市、田原市、設楽町	整備面積 (ha)										整備面積 (ha)
						32.9ha	16.1ha	32.9ha	16.7ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	—	32.9ha
	間伐材の利用促進 ・ 間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源林保全の大切さを訴えるとともに、上・下流域の交流を図る。			蒲郡市	事業費 (円)										事業費 (円)	
					920,000円	856,738円	920,000円	920,000円	920,000円	830,000円	920,000円 (滑り台・積み木セットを7市単ハ)	920,000円	920,000円	920,000円	—	
	間伐材の利用促進 ・ 豊根村木サイクルセンターが間伐材(原木)買取時に1本あたり50円上乗せする。			豊根村	実施回数 (回)										実施回数 (回)	
					2回	1回	1回	2回	1回	—	—	—	—	—	—	
					本数										材積	
					6,980本	7,976本	5,405本	4,345本	795	—	—	—	—	—	—	
	小学校訪問授業・野外体験授業 ・ 森林のはたらき(水循環等)や森林整備の重要性等についての出前授業間伐等の森林整備体験授業を実施する。			NPO種の国森づくりの会	実施回数 (回)										実施回数 (回)	
					7回	3回	8回	11回	9回	15回	21回	21回	21回	18回	—	
	水源地域交流事業(豊川流域における上下流域交流) ・ 下流域である蒲郡市民と上流域の新城市民(風来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。			蒲郡市、新城市、設楽町	実施回数 (回)										実施回数 (回)	
					5回	5回	4回	9回	8回	9回	9回	7回	7回	4回	3回	
			人数 (人)										人数 (人)			
			約156人	356人	731人	467人	966人	984人	1,250人	303人	310人	128人	95人			
細づくり	豊川流域における上下流域交流 ・ 交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村地内)宿泊者数。	田原市	宿泊者数 (人)										—			
			1,798人 (市民459人)	1,445人 (市民374人)	1,342人 (市民591人)	2,002人 (市民1,295人)	1,621人 (市民884人)	1,702人 (市民970人)	1,832人 (市民1,031人)	—	—	—	—			
			1,798人 (市民459人)	1,445人 (市民374人)	1,342人 (市民591人)	2,002人 (市民1,295人)	1,621人 (市民884人)	1,702人 (市民970人)	1,832人 (市民1,031人)	—	—	—	—			
	畜産環境対策の推進【2019終了】 ・ 畜舎排せつ物処理施設の設備、機械の修繕に対し補助金を交付する。	豊橋市	実施内容										実施回数 (回)	実施回数 (回)		
			豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン推進事業ホームページ運用	・畜舎増設の成分分析(実施回数9件) ・ホームページによる情報発信	畜舎排せつ物処理施設の修繕費補助(補助件数2件)	畜舎排せつ物処理施設の修繕費補助(補助件数3件)	—	終了	終了	終了			
			1回	1回	1回	1回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回			
まちづくり	湿地・灌原の保全 ・ 巡視・下草刈りなど湿地・灌原の保全整備を行う。	新城設楽振興事務所、東三河総局	修繕・修繕回数 (回)										修繕・修繕回数 (回)			
			1回	1回	1回	1回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回			
	合流式下水道の改善 ・ 合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、逆集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	豊橋市	見取り回数 (回)										見取り回数 (回)			
			54回	54回	54回	54回	54回	54回	54回	54回	27回	27回	54回			
	水環境保全のための啓発 ・ 水環境保全啓発事業の一環として、イベントへ参加し、水環境改善へ向けた意識を啓発する。	豊橋市	実施内容										実施内容			
			—	2箇所	2箇所	4箇所	—	スクリーン設置(2箇所)	—	—	2箇所	1箇所(雨水社室灌原上)付箇所0	延べ参加人数 (人)			
		豊橋市	・アquareフェスタ2009 3,000人 ・S30のまち環境フェスタ 10,000人	・アquareフェスタ2010 2,500人 ・S30のまち環境フェスタ 10,000人	S30のまち環境フェスタ 5,000人	S30のまち環境フェスタ 5,000人	S30のまち環境フェスタ 6,500人	S30のまち環境フェスタ 5,000人	S30のまち環境フェスタ 7,500人	S30のまち環境フェスタ 8,000人	豊橋みなとフェスティバル・ 2,000人	豊橋みなとフェスティバル・ 2018: 2,000人	豊橋みなとフェスティバル・ 2019: 2,000人			

2019終了

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績											
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
豊川・天竜川等流域	まちづくり	学校における環境教育(豊川流域における体験学習)	豊川市	実施回数(回)										実施回数(回)	
				4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回	4回	6回	-	6回	
				実施箇所数										実施箇所数	
				-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所	
	川・里海づくり	新倉川の清掃活動	朝倉川青水フォーラム	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	
				322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	79人	136人	-	141人	
				実施箇所数										実施箇所数	
				3,300人	3,280人	2,300人	3,100人	2,850人	3,221人	2,500人	3,000人	2,361人	-	-	
		川と海のクリーン大作戦	豊川市、新城市、豊橋河川事務所 (報告機関:市町村)	ごみの量(kg)										ごみの量(kg)	
				9,000kg	3,000kg	3,800kg	3,500kg	3,110kg	5,510kg	2,200kg	2回	2回	-	-	
				実施箇所数										実施箇所数	
				-	-	-	-	-	-	2箇所	2箇所	-	-	-	
		しんしるクリーンフェスタ	新城市	・ 閉鎖性水域である三河湾の浄化を目的とした流域河川の清掃を行う。	実施回数(回)										実施回数(回)
					3回	4回	8回	8回	8回	7回	4回	3回	2回	3回	2回
					実施箇所数										実施箇所数
					36箇所	44箇所	39箇所	37箇所	45箇所	68箇所	73箇所	57箇所	69箇所	63箇所	8箇所
					延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)
					4,826人	8,062人	4,904人	4,905人	2,766人	4,362人	5,078人	5,387人	4,093人	3,040人	455人
					実施箇所数(回)										実施箇所数(回)
					2回	2回	2回	2回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	2回
水生生物調査	流域市町:豊橋河川事務所、 清水大気環境課 (※報告機関:豊橋河川事務所、 清水大気環境課)	実施箇所数										実施箇所数			
		20箇所	15箇所	26箇所	27箇所	24箇所	19箇所	30箇所	26箇所	27箇所	22箇所	22箇所			
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
		454人	441人	607人	535人	512人	551人	486人	471人	515人	280人	700人			
ホタルの調査・観察	朝倉川青水フォーラム	観察会実施回数(回)										観察会実施回数(回)			
		2回	3回	2回	3回	1回	1回	1回	1回	1回	-	-			
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
		30人	50人	50人	40人	10人	20人	50人	50人	100人	-	-			
学校における環境教育(豊川流域における体験学習)(再掲)	豊川市	実施回数(回)										実施回数(回)			
		4回	4回	5回	5回	4回	8回	5回	4回	6回	-	6回			
		実施箇所数										実施箇所数			
		-	-	5箇所	5箇所	4箇所	8箇所	5箇所	4箇所	6箇所	-	6箇所			
川に関する出前講座	豊川市	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
		322人	322人	226人	95人	78人	151人	107人	79箇所	136人	-	-			
		実施回数(回)										実施回数(回)			
		5回	2回	-	5回	4回	6回	6回	6回	6回	6回	6回			
小学校や中学校で、川の役割(治水・利水・環境)と身近な川について紹介する出前講座を実施する。	豊川市	実施箇所数										実施箇所数			
		5箇所	2箇所	-	5箇所	4箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所			
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)			
		95人	209人	-	107人	79人	136人	171人	141人	141人	141人	141人			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績											
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
三河湾沿岸域 (豊川・蒲郡等)	森づくり	分収育林事業(再掲) ・水源地の保全・かん養に「分収育林」という形でお手伝いする。 ・上・下流域の交流を通じて相互の理解を深め、水の大切さの理解を深める。	蒲都市、田原市、設楽町	整備面積(ha)										整備面積(ha)	
				32.9ha	16.1ha	32.9ha	16.7ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	32.9ha	－	32.9ha	
		間伐材の利用促進(再掲) ・間伐材の利用を通じて水の大切さ、水源地保全の大切さを訴えたとともに、上下流域の交流を図る。	蒲都市	事業費(円)										事業費(円)	
				920,000円	856,738円	920,000円	920,000円	920,000円	830,000円	920,000円 (滞り台・積み木セッ7割削減)	920,000円	920,000円	－	－	
		小中学校訪問授業・野外体験授業 ・森林のはたらき(水源涵養等)や森林整備の重要性等についての出前授業(間伐等の森林整備体験授業)を実施する。	NPO様の国森づくりの会	実施回数(回)										実施回数(回)	
				4回	3回	1回	1回	4回	4回	1回	3回	2回	1回	－	
		水源地域交流事業(豊川流域における上下流域交流) ・下流域である蒲都市民と上流域の新城市民(鳳来地区)、設楽町民が相互に訪問して、相互の環境・文化等を理解するための交流を行う。	蒲都市、新城市、設楽町	実施回数(回)										実施回数(回)	
				5回	5回	4回	9回	8回	9回	9回	7回	7回	4回	3回	
				人数(人)										人数(人)	
				約156人	356人	731人	467人	966人	984人	1,250人	303人	310人	128人	95人	
【詳細】 ○沿岸域では、干潟・塩沼の造成、波瀬産地の修復などが実施されてきたが、引き続き水質や生態系水環境の発生が見られることから、さらに海域環境の改善対策が必要となっている。	郷づくり	豊川流域における上下流域交流(再掲) ・交流拠点施設ふれあいの館(グリーンメッセージ・設楽町(旧津具村)内)宿泊者数。	田原市	宿泊者数(人)										宿泊者数(人)	
				1,798人 (市民459人)	1,445人 (市民374人)	1,342人 (市民591人)	2,002人 (市民1,295人)	1,621人 (市民884人)	1,702人 (市民970人)	1,832人 (市民1,031人)	－	－	－	－	
				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		まちづくり	蒲都市井戸掘り事業助成金 ・井戸水の効率的利用の促進、節水意識野向上を図るため、公益目的の井戸掘りに助成する。	蒲都市	件数										件数
					－	－	－	－	1件	1件	－	－	－	－	－
		川・里海づくり	港域環境整備事業 ・緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。	三河港務所	整備率(%)										整備率(%)
					0.1%	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			波瀬産地の修復 ・三河湾に点在する波瀬産地等を埋め戻し、貧酸素水塊の発生を抑える。	三河港務所	整備面積(ha)										整備面積(ha)
					5.3ha	5.4ha	5.3ha	3.5ha	2.9ha	1.6ha	1.0ha	36ha	1.1ha	－	－
川・里海づくり	水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		実施箇所数										実施箇所数		
				6箇所	4箇所	7箇所	5箇所	6箇所	8箇所	6箇所	6箇所	5箇所	4箇所	7箇所	
				延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	
		105人	16人	67人	72人	77人	107人	100人	106人	12人	12人	13人			
【目標】 ☆自然と風景と文化が調和したふれあい空間としての水辺 ☆魚などの生き物が豊かな水がきれいで散歩などが楽しめるすぐれた川 ○農薬・水質の抑制や干潟の造成など生物の生態環境の改善			実施箇所数										実施箇所数		
			6箇所	4箇所	7箇所	5箇所	6箇所	8箇所	6箇所	6箇所	5箇所	4箇所	7箇所		
			延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)		
		105人	16人	67人	72人	77人	107人	100人	106人	12人	12人	13人			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名 (構成員名)	実 績										
				2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
三河湾・外海沿岸域 (渥美半島等)	森づくり	小学校訪問授業・野外体験授業 ・森林のはたらく(水循環養等)や森林整備の重要性等についての出前授業園伏等の森林整備体験授業を実施する。	NPO緑の国森づくりの会	実施回数(回)										
	郷づくり	畜産環境対策の推進(再掲)	豊橋市	実施内容										
		・家畜排せつ物の適正な管理を進めることで畜産経営による周辺環境対策を推進する。	豊橋市バイオマスタウン 推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン 推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン 推進事業ホームページ運用	豊橋市バイオマスタウン 推進事業ホームページ運用	・高産増産の成分分析 (養豚事業4件) ・ホームページによる情報発信	家畜排せつ物処理施設の 稼働費補助(補助件数2件)	家畜排せつ物処理施設の 稼働費補助(補助件数2件)	—	—	—	—	
		田原市バイオマスタウン構想の策定・推進	田原市	増設化施設等の稼働件数										
		・家畜排せつ物の適正処理及び有効利用の推進を通じて、河川の水質汚染防止、土壌の地力回復、悪臭防止等、地域の生活環境を保全するとともに、バイオマスイネルギーとしての利用を図り、積極的なCO2抑制に資する。	—	1件	4件	5件	—	3件	1件	—	—	—	—	
	沙川水質改善行動計画の実施	田原市	環境基準達成月数率(%)											
	・「たはるエコ・ガーデンシティ推進計画」で課題としてあげられている「沙川、三河湾の水質汚濁」を改善するため、平成18年3月に策定した行動計画に基づき効果的な対策を講ずる。	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
	まちづくり	合流式下水道の改善(再掲)	豊橋市	実施内容										
		・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、追集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	—	—	—	—	・スクリーン:2箇所 ・貯留施設:1箇所	スクリーン設置:2箇所	—	吐き口対策スクリー ン 4箇所設置	吐き口対策スクリー ン 2箇所設置	吐き口対策スクリー ン、 追集管、雨水貯留施設等の設置箇所:0	1箇所(雨水処理場高上付)	
	【課題】 沙川干涸は、渡り鳥の飛来地であるとともに、多くの水鳥の生物が生息し、海域の水質汚濁に寄与することから、干涸の保全・再生の取組が重要となっている。	【目標】 ☆人と自然が共生する沙川干涸 ☆自然景観に恵まれた川 ○貝類や野鳥が沢山みられ、人が安心して関わりあえる干涸の環境に配慮した農業の推進による河川などの汚濁の改善	沙川水質改善行動計画の実施(再掲)	田原市	環境基準達成月数率(%)									
・「たはるエコ・ガーデンシティ推進計画」で課題としてあげられている「沙川、三河湾の水質汚濁」を改善するため、平成18年3月に策定した行動計画に基づき効果的な対策を講ずる。			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
梅田川ふれあいクリーン作戦【2019終了】			豊橋市	延べ参加人数(人)										
・水質浄化啓発事業の一環として、地域、民間企業及び市の協働により、梅田川の水質改善に向けた活動を実施する。			1,600人	1,600人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	雨天中止	雨天中止	1,000人	梅田川ふれあいクリーン作戦2018:降雨により	1,000人	
水環境保全のための啓発(再掲)			豊橋市	実施回数(回)										
			・水環境保全啓発事業の一環として、イベントへ参加し、水環境改善へに向けた意識を啓発する。	雨天中止	1回	雨天中止	1回	雨天中止	2箇所	雨天中止	2箇所	雨天中止	2箇所	
			・アクトフェスタ2009 3,000人 ・530のまち環境フェスタ 10,000人	・アクトフェスタ2010 2,500人 ・530のまち環境フェスタ 10,000人	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 8,500人	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 7,500人	530のまち環境フェスタ 8,000人	豊橋みなとフェスティバル:2000人	豊橋みなとフェスティバル 2018:2000人	豊橋みなとフェスティバル 2019:2,000人	
川・里海づくり			海岸環境整備事業	東三河農林水産事務所	離岸堤基数(基)									
			・砂浜の保全・再生を図るため離岸堤、突堤の整備や養浜を行う。	整備済み離岸堤 3基	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
【目標】 ☆人と自然が共生する沙川干涸 ☆自然景観に恵まれた川 ○貝類や野鳥が沢山みられ、人が安心して関わりあえる干涸の環境に配慮した農業の推進による河川などの汚濁の改善			川・里海づくり	沙川水質改善行動計画の実施(再掲)	田原市	環境基準達成月数率(%)								
	・「たはるエコ・ガーデンシティ推進計画」で課題としてあげられている「沙川、三河湾の水質汚濁」を改善するため、平成18年3月に策定した行動計画に基づき効果的な対策を講ずる。	100%			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	梅田川ふれあいクリーン作戦(再掲)【2019終了】	豊橋市		延べ参加人数(人)										
	・水質浄化啓発事業の一環として、地域、民間企業及び市の協働により、梅田川の水質改善に向けた活動を実施する。	1,600人		1,600人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	雨天中止	雨天中止	1,000人	梅田川ふれあいクリーン作戦2018:降雨により	1,000人	
	サーフィン世界大会交流食	田原市		実施回数(回)										
		・サーフィンの世界大会を開催することにより、世界の人々が交流を深めるとともに、サーファー、釣り人、アクアミカメ等が共存する「自然の豊かさや」環境保全の重要性」を再確認する。		—	—	—	1回	1回	—	—	1回	1回	2回	0回
		・アクトフェスタ2009 3,000人 ・530のまち環境フェスタ 10,000人		・アクトフェスタ2010 2,500人 ・530のまち環境フェスタ 10,000人	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 8,500人	530のまち環境フェスタ 5,000人	530のまち環境フェスタ 7,500人	530のまち環境フェスタ 8,000人	豊橋みなとフェスティバル:2000人	豊橋みなとフェスティバル 2018:2000人	豊橋みなとフェスティバル 2019:2,000人	
	海浜の清掃活動等	田原市		実施回数(回)										
		・沿岸漁場の効用を高めるとともに、漁場環境の保全を図る。		—	—	—	48回	46回	58回	54回	27回	47回	10回	35回
	水生生物調査	田原市		流城市町: 湯水大気環境課 (報告機関: 湯水大気環境課)	実施箇所数									
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。			1箇所		1箇所	8箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	10箇所	3箇所	1箇所
延べ参加人数(人)														
39人			34人		101人	9人	9人	10人	5人	9人	75人	10人	10人	

2019
終了2019
終了

【課題】

○沙川干潟は、渡り鳥の飛来地であるとともに、多くの干潟の生物が生息し、海の水質浄化に寄与することから、干潟の保全・再生の取組が重要となっている。

【目標】

☆人と自然が共生する沙川干潟
☆自然景観に恵まれた川
○貝類や野鳥が現山みられ、人が安心して関わりあえる干潟
○環境に配慮した農業の推進による河川などの汚染の改善